

「東京 2020 大会におけるカーボンオフセットクレジット受渡式」

みなさまから御提供いただいた CO₂削減クレジットについて、東京 2020 大会組織委員会に引渡しを行いました。式典の様子を御案内します。

令和 3 年 6 月 4 日（金曜日） 午後 4 時から午後 4 時 15 分まで

- 場 所 : 都庁第一本庁舎 8 階 災害対策本部室
埼玉県 … 埼玉県庁
大会組織委員会 … 晴海トリトンスクエア
- 次 第 : 開会（司会進行 大会組織委員会）
知事挨拶
埼玉県知事挨拶
橋本大会組織委員会会長挨拶
写真撮影（晴海トリトンスクエア）
閉会

小池百合子東京都
知事 入室



式典開始



知事挨拶



知事挨拶 抜粋

- ・東京都では、キャップ&トレード制度の対象事業者に、CO₂の削減クレジットを提供いただけるよう呼び掛け、結果、昨年9月までの間に、153の事業者から、目標の365万トンを大きく上回ります418万トンのクレジットを御提供いただきました。
- ・この度、このうち346万トンを、東京2020大会への協力分といたしまして、橋本会長にお渡しをしております。
- ・開閉会式、オリンピック・パラリンピックの開会式・閉会式それぞれ合わせますと4日間分になりますけども、その都内のCO₂排出量をゼロにする『東京ゼロカーボン4デイズ in 2020』を実現するため、72万トンを活用させていただきます。
- ・オリンピック・パラリンピック大会で排出されますCO₂を、開催都市との連携でオフセットするということは、これは本当に史上初の取組になるんですね。
- ・クレジットを提供いただいた事業者の皆様方には、本当に、心から感謝を申し上げたいと存じます。
- ・東京都は、2030年までに、都内の温室効果ガスの排出量を2000年比で50%

削減することを既に表明しております。今後も、「Time to ACT」、「今こそ行動を加速する時だ」、これを合言葉にしまして、都民や事業者の皆様と共に、具体的な取組を重ねてまいります。

- ・そして「ゼロエミッション東京」実現への道筋をですね、明確に示してまいりたい、と考えております。
- ・引き続き、皆様方の御協力をお願いしまして、私の報告そして御挨拶とさせていただきます。

大野埼玉県知事挨拶
(埼玉県庁)



大野埼玉県知事 挨拶抜粋

- ・埼玉県では、地球温暖化対策の将来像として掲げる「脱炭素社会の実現」に向けた施策の大きな柱として、目標設定型排出量取引制度を導入しています。この制度の対象となる事業者の皆様に対し、省エネ対策などにより生み出された二酸化炭素排出量の削減分を御提供いただき、東京 2020 大会などの開催に伴い排出される二酸化炭素とオフセットをする取組、「ゼロカーボン埼玉」への御協力を呼び掛けてまいりました。
- ・その結果集まったこのゼロカーボンの取組について本日は、東京 2020 大会のカーボンオフセットを目的として、64 事業者から御提供をいただいたクレジット約 92 万トンを、大会組織委員会にお渡しをさせていただきます。
- ・改めて、御提供いただいた事業者の皆様に対し、心より感謝を申し上げるとともに、地球温暖化対策は世界各国が協調して取り組むべき喫緊の課題であるということを、このオリンピック・パラリンピックを契機として共有できること大変うれしく思っています。
- ・このカーボンオフセットの取組が、東京 2020 大会のレガシーの一つになると同時に、埼玉県と東京都が先進的に行う排出量取引制度をはじめとした、効果的な地球温暖化対策の取組が世界で実現されていく契機になることを期待しています。
- ・持続可能な社会を将来世代に引き継ぎ、埼玉県県が目指す「日本一暮らしやすい埼玉県」の実現を図るためにも、引き続き皆様方の御協力をお願いします。

橋本会長挨拶（晴
海トリトンスクエ
ア）



橋本会長 挨拶抜粋

- ・小池知事、大野知事、お忙しい中御出席を賜り、御協力に改めて感謝申し上げます。
- ・開会式まで 50 日を切りました。昨日は、50 日前イベントも実施させていただいたところであります。大会の準備も最終段階を迎えているところです。
- ・コロナ対策についても確実に実施しておりまして、安心安全な大会を実現したいと思っております。先日の IOC 調整委員会でも、新型コロナの影響を受ける中、大会に向けた準備が順調に進んでいると IOC から評価をいただいたところであります。東京都はもとより埼玉県をはじめ関係自治体の皆様の御協力のおかげと思っております。
- ・組織委員会では、かねてから、持続可能な大会を実現するため、再エネ電気の利用や、水素を活用した燃料電池自動車の利用など、脱炭素社会の実現に向けて取組を進めてきました。
- ・特に、再エネについては、被災地の復興を後押しする観点から、福島県内の太陽光発電所で発電された電気などを活用する予定にしております。また、東京都の協力も頂きながら、大会時には、再エネ電力 100%による運営を実現できる見込みとなりました。
- ・このような CO2 の排出削減を行っても、大会の準備や運営に伴い、どうしても排出される CO2 は存在をいたします。現状の試算だと、273 万 t の

CO2 が排出されると見込んでいるところです。

- ・このたび、東京都から 346 万 t、埼玉県から 92 万 t、合わせて 438 万 t ものクレジット提供を頂くこととなりました。
- ・これによりまして、CO2 排出をオフセットできることとなった。東京都と埼玉県、また、それぞれの制度の先にいる企業の方々の協力に、心から感謝申し上げます。
- ・多くの主体が参画した、カーボンオフセットの取組は、オリパラ史上、初めてのことだと認識しており、皆さまからの協力により、想定した排出以上のオフセットが実現できる見込みとなりまして、東京 2020 大会を「カーボンマイナス大会」として開催できることとなりました。
- ・長い歴史の中で大会延期は東京が初めてである。世界がコロナ対策、気候変動など大きく大きく困難な問題に直面しているときだからこそ、東京大会を成功させることに意義と価値があると思っております。関係者の皆様と連携しながら、新たな社会に向けたレガシーとなるよう引き続き努力を積み重ねていきたいと思っております。
- ・これからもどうぞ何卒よろしく願いいたします。本日は本当にありがとうございます。

写真撮影



式典終了 知事退出

無効化証書

※式典当日、大会組織委員会にお渡ししました。

3環地総第107号

**東京都キャップ&トレード制度
クレジット記録移転通知書
(無効化証書)**

東京都(東京2020大会関連オフセット) 殿

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例施行規則第4条の21 の14 第3項の規定により、クレジットを知事の管理口座に移転いたしました。
これにより、以下のクレジットの無効化が行われたことを証します。

種類	数量	識別番号	有効期限
超過削減量	3,419,920 t-CO ₂	別紙のとおり	別紙のとおり
都内中小クレジット	45,088 t-CO ₂	別紙のとおり	別紙のとおり
都外クレジット	3,807 t-CO ₂	別紙のとおり	別紙のとおり

無効化の目的
東京2020大会カーボンオフセット(公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)への協力(クレジットの提供に御協力いただいた事業者に御礼申し上げます。)

令和3年6月4日
東京都知事 小池 百合子



当該式典の開催にあたって都庁において排出されるCO₂について、カーボン・オフセットを実施しました。

- カーボン・オフセットの範囲
会場の使用エネルギー、配布する印刷物 等
- 温室効果ガス削減行動
消耗品の新規購入取りやめ 等
- カーボン・オフセット量
1 t-CO₂
- オフセットクレジットの情報
東京都キャップ&トレード制度における省エネ等の取組で創出された超過削減量 (CO₂削減クレジット:第二計画期間に創出されたもの)
創出事業所 東京都廃棄物埋立管理事務所(東京都江東区青海3丁目地先)
- クレジットの無効化日
令和3年7月1日
- 無効化証書
右図のとおり

3環地総第182号

**東京都キャップ&トレード制度
クレジット記録移転通知書
(無効化証書)**

東京都環境局 殿

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例施行規則第4条の21 の14 第3項の規定により、クレジットを知事の管理口座に移転いたしました。
これにより、以下のクレジットの無効化が行われたことを証します。

種類	数量	識別番号	有効期限
超過削減量	1 t-CO ₂	130-23437032 ~ 130-23437032	第三計画期間

無効化の目的
【無効化の目的】
令和3年6月4日の式典第3期により発生した二酸化炭素排出量について、オフセットする。
-式典名称 東京2020大会におけるカーボンオフセットクレジット受渡式
-開催日時 令和3年6月4日(金) 16時~16時15分
-開催方法 リモート方式(東京都知事は、都庁第一本庁舎8階災害対策本部裏から参加)
-オフセットの範囲 会場の使用エネルギー、配布する印刷物 等
-オフセット量 1t-CO₂

令和3年7月1日
東京都知事 小池 百合子

